

English Conversation Program

ネイティブ教師による英語授業なら…

アイウエアでは、学校向け英会話プログラム（ECP）の企画・運営を行っています。学校内での英語・英会話授業に関するコンサルティング、企画、更にネイティブ英語教員による授業プログラムの受託を行っています。

今のネイティブ教師や英会話授業に満足されていますか？

外国人による英会話の授業は、誰に頼んでも同じようなものとお考えではありませんか。

当社は、単に外国人講師を学校に送るだけではありません。

中学・高校の英語カリキュラムに沿った独自の英会話プログラムで、各学校の英語教員の指導と、各学校に適した授業プログラムを構築し、実践いたします。

年々多くの学校からのご依頼をいただいております、高い評価を得ています。この機会に貴校独自の英会話の授業をご検討ください。



文部科学省の学習指導要領の中に追加されている“オーラルコミュニケーション項目”。実用的で実践的な英語教育のノウハウは、今後ますます必要不可欠な技術になるはずです。アイウエアでは、ネイティブ英語教員による中学・高校の英語カリキュラムに沿った独自の英語講座を提供し、学校での英語教育をサポートしています。

- このプログラムは、実用的な英語教育の流れを敏感に感じ、より実践的な教え方を研究されている先生方を全面的にバックアップします。
- ネイティブの英語教員が日本人教員とともに生徒の英語力向上という同一の目標に向かって努力することで、進学実績や学校の活性化に寄与しています。
- このプログラムは、英語を英語そのものとして理解し、使える能力を伸ばすことに重点を置いています。
- TESOL (Teacher of English to Speakers of Other Languages) TESL (Teaching English as a Second Language) TEFL (Teaching English as a Foreign Language) は、英語教育に携わる人々には必須科目となっており、日本で英語を教える先生方にとっては非常に有益なノウハウとなるはずです。

◇概要

- ・各学校で英語教員の指導のもと、各学校に適した授業プログラムを作成し、生徒の英会話力・英語力を向上させます。
- ・中学・高校の学習事項に沿って、ネイティブの教員が英語だけを用いて英語の授業を行います。

- ・中学1年生から3年生、高校1年生から3年生などのクラスでの授業
- ・日本人英語教師との Team Teaching による Learning skills の指導
- ・海外帰国子女の取り出し授業
- ・パソコンを使った英会話教室
- ・英語検定特別講座
- ・エクステンシブリーディングプログラム（多読講座）
- ・英語クラブでの指導や父母のための英会話クラスの指導など

◇実績

- ・このプログラムは 1984 年よりスタートし、神奈川県・東京都の多くの私立・公立学校の英語授業を担当してきました。

導入実績校

東京女学館中学校高等学校・国際基督教大学高等学校・北鎌倉女子学園中学校高等学校・横浜山手女子学園中学校高等学校・土浦日本大学学園・横浜中学校・鎌倉学園中学校高等学校・相洋中学校・鶴沼高等学校・武相中学高等学校 その他 東京・神奈川県を中心に多数

◇その他

- ・カナダ（トロント・オタワ等）の教育委員会や大学と正式に提携した ESL study tour（英語研修旅行）を行っています。
- ・海外 10 カ国以上の国で日本語を学ぶ高校生を日本に招聘し、日本語スピーチコンテスト（JSA）を行っています。さらに、海外高校生の日本滞在期間（約 10 日間）に日本の学生（中～大学生）との異文化交流プログラムを行っています。

導入のメリットは？	3
質の高い中高生対象プログラムとは？	4
質の高い高校生対象プログラムとは？	5
質の高いプログラムの企画・イベントとは？	6
■ 授業方法	7
■ カリキュラム	8
■ 基準を明確にした評価法 (CRITERIA BASED GRADING)	11
■ 教授法 (Teaching Techniques)	12
■ 特別講座 パソコンを使った英会話教室	13
■ 特別講座 英語検定特別講座	16
■ 特別講座 多読講座 (Extensive Reading Program)	16
■ 導入方法	17

導入のメリットは？

①貴校の優位性をアピールできます。

事前に貴校と当社コーディネーターがじっくり話し合っ、貴校のご希望に最適な教師に、ご希望する内容の英語プログラムを実施させることができます。単なる人材派遣とは違い、プログラムのノウハウは貴校に蓄積され、担当教師が変わっても同じ方針で続けることができます。

導入実績校

東京女学館中学校高等学校・国際基督教大学高等学校・北鎌倉女子学園中学校高等学校・横浜山手女子学園中学校高等学校・土浦日本大学学園・横浜中学校・鎌倉学園中学校高等学校・相洋中学校・鶴沼高等学校・武相中学高等学校 その他 東京・神奈川県を中心に多数

②費用の負担が軽減されます。

費用は月額料金＋消費税＋教師通勤交通費のみ（担当者がより詳しく、お客様のニーズとご予算をお伺いいたします。）

教師募集広告費用、面接費用、研修費、賞与、社会保険、年金などの福利厚生関係費用、退職金等一切不要となりますので大幅な費用の軽減が期待されます。

また複雑なビザ申請・更新に伴う手続きなどは当社が一切おこないます。

③質の高いプログラムを提供します。

プログラム導入前の研修はもちろん、導入後も定期的な授業視察、面談、生徒アンケート等を実施、更に頻繁にスキルアップ研修を行い、教師の意識改革をおこないます。（万一改善が見られなかった場合、貴校とご相談の上、教師の交換をおこなう場合もございます。）

また、貴校の英語の先生と当社ネイティブ教師との話し合いやティームティーチングによって、貴校独自のビジョンとカリキュラムを構築し、必要にあわせてより改良していきます。

研修プログラム内容例

模擬授業の実施、教授法の学習、カリキュラムの構築、日本教育事情、日本語スキルアップなどをおこないます。

④導入までのプロセスが軽減されます。

導入までのプロセス

①貴校で当社コーディネーターがご希望を伺います。

②当社が教師を検索し、2回以上の面接、模擬授業などを経て、貴校に最適な教師と英語プログラムをご提案します。

③最終審査に残った教師を貴校に引率し、今後の業務やスケジュールについてミーティングをおこないます。

④当社内で教務研修等をおこないます。

⑤勤務開始

ご希望の月から勤務がスタートできます。

⑥導入後フォロー開始

④生徒募集活動を支援いたします。

貴校の英語プログラムを含む先進的な教育内容に関して、当社の関係している対象者に対し広報をおこない、生徒募集活動の支援をいたします。

質の高い中高生対象プログラムとは？

①英会話クラス

対象：すべての学年

時間：月 1 時間～

クラスはフォニックスを中心にスタートします。

生徒は日常の生活場面（学校・家庭・旅行）で必要な英語を学びます。

クラスは、活発で対話型の形式で行なわれます。

フォニックスは、生徒の英語を聞く力、読む力、スペリング、発音を鍛えるのに大変役立ちます。その他必要に応じて短編小説、新聞記事、雑誌およびインターネット等もすべて、教材として使用します。

また、このクラスは多読講座（Extensive Reading Program）として月に最低 1 冊の英語の本を読むように指導します。本はレベル別に分類された読本(オックスフォードとペンギンシリーズ)を使用します。

②英語コンピュータクラス

対象：すべての学年

時間：月 1 時間～

英語のソフトウェアを活用することで、生徒は自分のペースにあわせてじっくりと英語を習得することが出来ます。

学年が上がるにつれてインターネット上のペンパル（キーパル）を通して他の国の学生と英語でコミュニケーションをすることが出来ます。

③ 読解・記述総合クラス

対象：すべての学年

時間：月 1 時間～

速読・段落構成について指導し、読解力を育成していきます。

また、記述力（エッセイスキル）養成のために早い段階から英語による創作文の指導をおこないます。

質の高い高校生対象プログラムとは？

① College Preparation Listening/Speaking

対象：高校生以上

時間：週 1 時間～

このプログラムは、日本の大学だけでなく北米を中心とした正規大学留学を想定しておこなわれています。高校生以上で更に高い目標を持つ生徒に対してこのプログラムの導入をお勧めします。

リスニング

北米大学留学を意識した内容を中心に北米の学校生活講義などで必要なボキャブラリーを身に付けます。

スピーキング

他人の意見を踏まえて自分の意見を回りに納得させるスキルを身に付けます。また北米大学の授業でプレゼンテーションをするときに困らない対策をおこないます。

② College Preparation Reading/Writing

対象：高校生以上

時間：週 1 時間～

リーディング

集中的に文章を読むことによって読解力を育てます。
地域、時代背景の異なる様々な文学作品を読みます。

ライティング

早い時期から生徒に英語の文章を書かせます。
生徒の考えや意見を積極的に引き出す授業をおこないます。

TOEFL などの出題傾向にあわせた授業をおこないます。
北米大学で課されるレポートのまとめ方を学びます。

質の高いプログラムの企画・イベントとは？

①英語による他の科目授業

対象：すべての学年

時間：年1回～

英語以外の科目（例えば体育、家庭科、コンピュータなど）を適宜おこないます。

高学年向けに、科学、社会、世界史などを英語で教えることで、留学における基礎知識を習得させることができます。

②各種イベント

対象：すべての学年

時間：年1回～

貴校の英語教育を更に差別化するための各種イベントを企画し運営いたします。（旅行代金など別途費用）

【実施例】

中学1年

イングリッシュデーを年1回実施

英語暗誦コンテスト

英語スピーチコンテスト

中学2年

夏期英語サマーキャンプ

英語暗誦コンテスト

英語スピーチコンテスト

中学3年

海外修学旅行

旅行前研修、旅行後研修

高校1年

夏期英語サマーキャンプ

高校2年

海外研修

旅行前、旅行後研修

TOEFL 対策、TOEIC 対策

高校3年

受験対策

TOEFL、TOEIC 対策

■ 授業方法

◇1クラスの生徒数

生徒に話す機会をできるだけ与えるために、1クラス20名以下の生徒数で効果を上げています。1クラス40名の場合には2グループに分割する方法を採っています。このように少人数制を採っているのは、授業が講義形式ではなく、ロールプレイやペアワーク等の方法を採用しているからです。

◇教材

教材は、国内で入手することのできる市販のもの（オックスフォード等）とオリジナルのサブテキスト・プリントを使用します。

◇授業の方法

授業はすべて英語で行います。教員が日本語を少し理解していても日本語で生徒に話すことはしません。あくまでも、英語を英語で理解させることを原則にしています。

また、生徒の興味を刺激するような形式で行います。教科書の説明を講義形式で行うようなものではありません。

また、英語だけを教えるのではなく、英語圏での文化（考え方の違い、ボディ・ランゲージ、話すときの視線の位置等）を教えることも大切なことと考えています。

■ カリキュラム

ECP のカリキュラムは、文法・トピックが基本のプログラムです。文法は英検の3級・準2級・2級の内容から選ばれ、プログラムを通じて異なる方法で何度もくり返されます。トピックはタイムリーで楽しいもので、生徒に日々使う会話を表現させることに重点をおいています。

下記の内容は一つの例であり、固定的なカリキュラムではありません。詳しい内容については、話し合いを進めていく中で、決定していきます。

【実施例】

◇ 中学1年生

フォニックスを扱い、英単語を正しく発音できるようにします。

	テーマ	サブトピック/ 文法	話法	教材等
4月	アルファベット	アルファベットと発音	声に出して/発音に気を付け/覚える	カード/絵
5～6月	数	数の発音、聴き取り	声に出して/発音に気を付け/覚える	カード/ストップウォッチ/その他
7～9月	時間/カレンダー	時間、曜日の言い方、使い方	正しく/何時でも簡単に使える様に	ストップウォッチ
10～12月	自分自身の事(履歴書)	年齢、誕生日、住所、電話について	相手の目を見て/リズム良く	生徒自身と教師自身
1～3月	日常生活	日常生活の事、動詞の使い方、第三者の表現	ジェスチャーを交えて/リズム、テンポ良く	黒板ゲーム、カード、絵

◇ 中学2年生

生徒は中学1年で学んだものを、より高いレベルで引き続き学習します。

	テーマ	サブトピック	話法	教材等
4月	学校や家庭での出来事	前置詞の使い方	発音に気を付けて	手を使ったゲーム
5～6月	日常生活	動詞の使い分け(I/you/he, she, it/they)	リズム、テンポ良く/ジェスチャーを交えて	カード/絵/ゲームボード
7～9月	家族	家族/親類/他人	声を出して元気良く/発音に気を付け/明快に	絵/フラッシュカード
10～12月	フルーツと野菜	描写の仕方	発音に気を付け/相手の目を見て	カード/ビンゴゲーム/手を使ったゲーム
1～3月	学校や家庭での出来事	前置詞の使い方	発音に気を付けて	手を使ったゲーム

◇ 中学3年生

中学3年生までの文法内容を駆使して、高いレベルのコミュニケーションスキルを学びます。

	テーマ	サブトピック	話法	教材等
4月	料理のレシピ	料理の仕方／料理用の動詞	リズム、テンポ良く／ジェスチャーを交えて	カード／ストップウォッチ
5～6月	洋服	描写／色／デザイン	発音とイントネーションに気を付けて	カード／CD-ROM／
7～9月	スポーツ	動詞の使い方／Like、Dislike 使い方	リズム、テンポ良く／ジェスチャーを交えて	しりとり／CD-ROM／カード
10～12月	道案内	道案内の聞き方、教え方／形容詞の使い方	相手の目を見て／イントネーションに気を付け／リズム良く	地図等
1～3月	料理のレシピ	料理の仕方／料理用の動詞	リズム、テンポ良く／ジェスチャーを交えて	カード／ストップウォッチ

◇ 高校1年生

トピックベースの授業を通して生徒たちは新たな知識や表現を身に付け、自然な英会話力を習得していきます。

	テーマ	サブトピック	話法	教材等
4月	レストラン	注文の仕方／料理の説明の仕方	リズム／イントネーション／発音に気を付けて	メニュー／カード／CD-ROM／ビデオ
5～6月	病気	病気の説明／病院の予約	発音とイントネーションに気を付けて	フルーツバスケット／CD-ROM／ボードゲーム
7～9月	仕事	両親の仕事	イントネーション／流暢に／返時のバリエーションを持つて	ビンゴゲーム等
10～12月	買物（ショッピング）	前置詞の使い方／ショッピングに関する英語	ジェスチャーとアイコンタクト	ボードゲーム／カード
1～3月	日本の文化	日本の料理／日本のお祭り／お正月	リズム／イントネーション／発音に気を付けて	レシピ／ビデオ

◇ 高校2年生

新しいトピックと状況の中で文法と語彙を使います。また、より長くより深いトピックを扱います。

	テーマ	サブトピック	話法	教材等
4月	ユニフォームのデザイン	洋服／アクセサリ／自分のデザイン	イントネーション／リズム／アイコンタクト	CDROM／ビデオ／カード
5～6月	自分の習慣、趣味	良く使う形容詞／リクリエーションに関する言葉の使い方	明快に／アイコンタクトして	郵便／カード
7～9月	休日の計画	have to/should/going toの使い方	返事のバリエーションと表現方法	ポスター／カード
10～12月	ホームステイ(異文化理解)	未来形／文化の違い	インタビューの仕方、受け方／アイコンタクト	インターネット／パンフレット
1～3月	自分で話を作る	過去形／動詞／動機付け	明快に／チームワークでの話法	カード／絵／テープ／CDROM

◇ 高校3年生

2年間学んだことをふまえて、新しいトピックを用い、すらすらと話せるようにします。

Grammar :

- ・冠詞
- ・形容詞
- ・未来形
- ・助動詞
- ・前置詞
- ・頻度を表す副詞

Topics :

- ・食べ物
- ・スポーツ／趣味
- ・自分自身について
- ・衣服

■ 基準を明確にした評価法 (CRITERIA BASED GRADING)

◇基準：

英語で上手にコミュニケーションするには、話すこと以外にも多くの点に注意を払わないといけません。コミュニケーション力を上げるためにはどんな点が大切かを教え、まずは一つずつ実践していきます。次第に複数の点に気をつけることができる様になり、最終的には全ての点に留意しながら話せることを目標にします。基準を細かに分類することで生徒の達成度を分析できます。このことによって個々の改善点を明確にし、生徒のコミュニケーション能力を効果的に向上させることができます。

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. Eye Contact | — 本や先生ではなく、話し掛けている人を見させます。 |
| 2. Gestures & Facial Expression | — 言語によって異なるジェスチャーと表情は、コミュニケーションを成功させるのに大事な部分です。 |
| 3. Speed & Fluency | — 生徒が自然なスピードで話すことができるように練習させます。 |
| 4. Intonation & Rhythm | — すべての言語にはそれぞれのイントネーションとリズムがあります。 |
| 5. Pronunciation | — ほとんどすべての人が、日本人で英語を学ぶ人が発音に問題を抱えていることに気付いています。生徒にはカタカナ英語は英語ではなく日本の外では理解されないということに気付かせます。 |
| 6. Target Grammar | — 文法は正確に使えるように力をいれます。一般的な間違いは正しく直され、正しいで形を練習します。 |
| 7. Loudness/Clarity | — 恥ずかしがったり英語を話すことに慣れていないと、生徒はとても小さい声で話しがちです。大きな声ではっきりと話せるようにします。 |
| 8. Classroom Language | — 英会話のクラスでは、生徒はいつでも、英語で話すようにさせられます。 |

◇評価：

評価は下記の5種類にわかれます。

- | | |
|------------------------|---|
| 1. Participation (30%) | — 生徒のクラスへの参加度は1回の授業につき、2ポイント制でつけられます。 |
| 2. Criteria (30%) | — ほとんど毎回のクラスで、生徒は英語コミュニケーションに必要な点(評価の基準)に気をつけて、課題をこなす必要があります。評価の基準を満たしているかを見るために練習し、リハーサルした後にチェックされます。「評価の基準」はそれぞれ3段階でつけられます。 |
| 3. Other (10~20%) | — ロールプレイなり先生と1対1の会話なり、ユニットの中で一番よかったもの。評価の基準(2・3)と同様に、パフォーマンス全体を評価します。 |
| 4. Homework (10~20%) | — 宿題が与えられます。 |
| 5. Quizzes (10~20%) | — 理解しているかを見るために小テストをします。小テストは書く事を好む生徒には助かります。 |

■ 教授法 (Teaching Techniques)

JOBA 英語講座の目的は授業時間の 70%~80%を生徒が英語で話すようにするという事です。この目的を達成するために、ECP では様々な教授法を駆使します。これらの教授法によって、生徒が興味とやる気を持ちつづけ、あらゆる状況でコミュニケーションができるようにさせることができます。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| Games | — 生徒に英語を多用させるため、ゲームの楽しさを取り入れフレンドリーな雰囲気を作ります。 |
| Pair work | — ペアワークは情報を見つけ、問題を解決するために英語を一緒に（2人で）使わなくてはいけないものです。すべての生徒にある程度話さないといけない時間を与えます。 |
| Video | — ビデオを見ることでたくさんの英語を見聞きし、実際に使われる英会話の例を紹介できます。ECP のネイティブ教員のガイダンスによって、生徒達は使われている言葉や会話がどのような状況なのか、ということに注目します。 |
| Computers | — コンピュータは ECP 英語講座の授業に役に立ちます。コンピュータを使って、生徒は自分のペースで学習ができます。コンピュータや小テストを使って、ECP のネイティブ教員は生徒の発音や理解度をチェックします。 |
| Role play | — ロールプレイはトピックやユニットの最後にやることで、学習した会話を再確認できます。ロールプレイを通して、どうやって本当の会話が発生するかを体験します。また、生徒は会話をマスターしたことで達成感を味わうことができます。 |
| TPR
(Total Physical Responses) | — TPR は提示されたトピックや状況に対して動かせるために行われます。ロールプレイの間、生徒がどのように動くかは何を言うかと同じくらい重要です。 |
| Cards, etc | — 使われる素材（物）は、生徒が何を言うべきかというのを導く上でとても大事です。これらのものはいろいろ異なる方法でほとんど全てのクラスで使われます。 |

■ 特別講座 パソコンを使った英会話教室

◇目標：

パソコンを使った英会話教室を行う事により、

1) 生徒がパソコンの基本的な能力を身につける事を目標の1つとします。パソコン操作は全世界で共通の、これからの子供が身につける必要のあるスキルの1つです。マイクロソフトのワード等を使い基本的なワードプロセッシングを身につけさせます。

2) インターネットを使い、生徒にあらゆる情報を検索する能力を身につけさせます。インターネットでは、英語とパソコンを効率よく使う能力が要求されます。生徒が抵抗なくパソコンとインターネットを活用出来る様にする事を目標の1つとします。

◇導入プラン：

通常の英会話授業とは別に行う方が好ましいと、我々のこれまでの経験から言えます。当社が導入している学校では、年間平均22回この講座を導入しています。

生徒の参加率も非常に高く、保護者からの評判も非常に良いものです。弊社が導入している学校では、この講座を通じ、学校内でのパソコンに対する理解度が深まった事は勿論の事、生徒の英会話能力が向上したと自信を持っております。

学校の生徒募集にも大きく貢献しています。

◇カリキュラム：

Lesson 1

- ① Introductions
- ① Needs - they should have a notebook, disk, and a pen every class.
- ② Parts of the computer find. Individually they have to fill in the blanks on their papers and come show us to check. First 10 get stickers.
- ③ Turn on the computer. Go through the steps to see how much they know.
- ④ Question sheet - We ask the questions, they have to write the answers.
- ⑤ CD-ROM - Play with the dictionaries to see how well they can use a mouse and navigate the computer. (Oxford Picture Dictionary CD-ROM)
- ⑥ Questionnaire - Fill out about their own computer use.
Shut down the computers.

Lesson 2

- ① Check that they have a disk and notebook. Have them write their names on the disk.
- ② Computer terms (handout) - P/W, they have to match the terms and commands with their definitions. (P/W - pair work)
- ③ Turn on computers. Have them format their disks.
- ④ Go over the terms from P/W to check comprehension.
- ⑤ Find the Word Processor program on their computers.
- ⑥ Go over the commands from P/W to check comprehension.

Lesson 3

- ① Find the Word Processor program on their computers.
- ② Go over the commands from P/W to check comprehension.
- ③ Typing practice - P/W

Lesson 4

- ① Finish typing if they haven't.
- ② On their papers they should put the sentences in the right order.
- ③ Then cut and paste on the computer to put in the same order.
- ④ Do spell check and then print and check their answers.
- ⑤ Play on one of the CD's if extra time.

Lesson 5

- ① Give everyone a handout of Microsoft Word English reference. Have them find them on the computer and then write the Japanese terms for each.
- ② Have them highlight the ones they will use most often.
- ③ Finish cutting and pasting if they haven't.
- ④ Spell check and print when they finish cutting and pasting.
- ⑤ Check the printed copy and have them make corrections.
- ⑥ Type the paragraph again, as a paragraph, see how fast they can type it.
- ⑦ Spell check and change the fonts and type size. Play with some of the other buttons on the bar, then print and check.

Lesson 6

- ① Finish cutting and pasting if they haven't.
- ① Spell check and print when they finish cutting and pasting.
- ② Check the printed copy and have them make corrections.
- ③ Type the paragraph again, as a paragraph, see how fast they can type it.
- ④ Spell check and change the fonts and type size. Play with some of the other buttons on the bar, then print and check.
- ⑤ If they finish, give them a CD and let them play.

Lesson 7

- ① Turn on their computers.
- ② Open a blank word document.
- ③ Type in their addresses western style.
- ④ Introduce 'Fonts' to them and let them discover the different types of fonts/colors/sizes they can use with their addresses.
- ⑤ Introduce Clip Art and show them how to drag and drop pictures. Also show them how they can manipulate the pictures.
- ⑥ Let them discover the different pictures they can use. They can choose a picture or pictures for their cards.
- ⑦ Save to their disks!

Lesson 8

- ① Open address and picture document.
- ② Tell them where the business card template is.
- ③ Cut and Paste their addresses and pictures to the templates.
- ④ Save to their disks.
- ⑤ Print out cards from the front printers.
- ⑥ If they finish, give them a CD and let them play.

Lesson 9

- ① Students will practice keyboarding by typing a letter to a famous celebrity.
- ② Students are to choose a celebrity from the list and then fill in the blanks, on the letter form ,first.
- ③ Next they should open up their disks and choose the Contemporary Letter.doc.
- ④ They should click and type their addresses onto the template. They should not hit delete and then type, this will mess things up.
- ⑤ They should spell check their letter.
- ⑥ When we remember, shout out, "Save to your disk," so they can get in the habit of doing so .
- ⑦ If they finish early, they may either write another letter or you can give them a CD and let them play.

Lesson 10

- ① Students will finish their letters.
- ② When we remember, shout out, “Save to your disk,” so they can get in the habit of doing so.
- ③ Make sure they spell check their letters.
- ④ They should then print out their letters.
- ⑤ If they finish early, they may start their return address labels.

Lesson 11

- ① Students will finish their letters and make their return address labels. (See How to Make Return Labels.)
- ② Depending on time, they can play with color and fonts with their addresses.
- ③ When we remember, shout out, “Save to your disk,” so they can get in the habit of doing so.
- ④ Make sure they spell check.
- ⑤ They should then print out their labels today. They can use the color printers.
- ⑥ If they finish early, they can hit the Internet to explore about their favorite celebrity.

Lesson 12

- ① Internet and addresses - we read out some addresses and they type them in.
- ② Test of knowledge - they must have this checked before they can go on to the Treasure Hunt.
- ③ Internet Treasure Hunt - they must finish this before they can go on to the email card.

**If they can next class bring in their own email address AND/OR a friend's email address.

Lesson 13

- ① Finish Treasure Hunt first.
- ② Email cards. Go through the steps. More than one is possible. * If they do not have their own email address or/nor a friend's, they can use a teacher's address. (School does not allow email addresses at the moment. It would have been nice if the students could have set up their own free email account, such 'Hotmail')

Lesson 14 (the students were slower than expected surfing the Web)

- ① Finish Treasure Hunt first.
- ② Email cards. Go through the steps. More than one is possible. * If they do not have their own email address or/nor a friend's, they can use a teacher's.

Lesson 15

- ① Finish Email cards.
- ② Start searching the web for favorite animal picture and information. These will be copied and pasted on to a page in Microsoft Word. They should use their Task Sheets.

Lesson 16

- ① Students finish search the Web for information and pictures of their favorite animal.

Lesson 17 – Lesson 20

The Recipe Book.

- ① Search for a recipe. Print it out.
- ② Search for pictures of it or foods used to make it. Save to work document “Recipe” .
- ③ Use the Internet to convert imperial measurements to metric.
- ④ Type the recipe. Play with layout of pics, recipe.

Lesson 21

- ① Put the Recipe Books together. (1 for each student)
- ② They can do as they wish on the computers.

■ 特別講座 英語検定特別講座

◇目標：

生徒の英語検定合格率を上げる。

英語検定合格が生徒の最終目標ではない事は言うまでもありませんが、他の講座同様、弊社の英語検定特別講座を導入している学校では飛躍的に合格率がアップしています。

この講座も通常の英会話授業とは別に、弊社のネイティブ教員が合格までの面倒を見る方が効果的です。ECP のクライアントの1つである学校の合格率は、前年比、2級合格率43%から75%、準2級72%から96%にまでなりました。他の講座との相乗効果とネイティブ教員のきめ細やかな面倒見は自信のあるところです。

■ 特別講座 多読講座 (Extensive Reading Program)

◇目標：

生徒が英単語に慣れ親しみ、英語の本に抵抗なく取り組めるようになることを目標とします。英語検定試験の合格率アップや TOEFL、TOEIC の得点アップにも顕著な効果があります。また、普段、本を読む機会が少なくなっている生徒に本を読む大切さを教える機会にもなるはずです。

◇導入プラン：

多読講座に関してはオックスフォード大学において、既にその利点が、特に英語を第2言語とする者への効果として確立されています。JOBA のネイティブ教員はこの多読プログラムを理解したうえで、その生徒に適したレベルの本を与え、選択させ、その結果を生徒とコミュニケーションします。この事を通じ、生徒は飛躍的に英語力を身につけます。日本の英語教育が採っている「精読」では生徒が達成できない効果をもたらします。

■ 導入方法

